科目名称	看護管理	学年学期	単位数	時間数
		3 学年前期	1	30
担当教員	横山千津子　﨑田智美	授業に関わる実務経験	■ 有（　看護師　） □ 無	

【1】 授業概要

従来、看護管理といえば病院の看護師長など管理者になる人が学ぶものという理解が多かったが、現在の看護管理は、新しいヘルスケアシステムを創造し、チームや組織、システムを動かしていく活動として、ケアを提供しているすべての看護職が担う役割として理解されている。看護管理には、看護職一人ひとりが提供する対象者への「看護ケアのマネジメント」と、看護管理者によって行われる組織目的達成のための「看護サービスのマネジメント」があることを理解する。看護活動の場は病院のみならず地域の保健医療福祉の場へと拡大している。看護基礎教育の最終段階の学習として、マネジメントに必要な知識と技術、チーム医療および他職種との協働・連携のなかで看護師としてのメンバーシップ及び・リーダーシップを理解し、組織の調整や看護をマネジメントする基礎的能力を養う。また、看護基礎教育の段階から専門職として自立・自律した存在を目指すキャリアマネジメントが質の高い看護の提供には不可欠であることを理解する。

【2】 学習目標

1. 看護管理学の概念と看護のマネジメントについて説明できる。
2. 看護職一人ひとりが提供する看護ケアのマネジメントに必要なマネジメントについて説明できる。
3. 看護職のキャリアマネジメント、ストレスマネジメント、タイムマネジメントを学び自己のキャリア形成について考察できる。
4. 看護管理者によって行われる、看護サービスのマネジメントに必要なマネジメントについて説明できる。
5. 「看護ケアのマネジメント」と「看護サービスのマネジメント」に必要となる知識・技術や関連する法・制度について説明できる。

【3】 第 1 看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護とマネジメント：看護管理学の概念、看護とマネジメント	講義
2 3	看護ケアのマネジメント：看護職の機能、患者の権利の尊重、安全管理、チーム医療、看護業務の実践（日常業務のマンエジメント）	講義
4	看護職のキャリアマネジメント	講義
5 6	マネジメントに必要な知識と技術：マネジメントとは、組織とマネジメント、リーダーシップとメンバーシップ、組織の調整	講義
7 8	組織の調整：課題学習　SWOT分析	演習
9 10	看護サービスのマネジメント：サービスとは、対象と範囲、組織目的達成のマネジメント、看護ケア提供システム、人材のマネジメント	講義
11 12	看護サービスのマネジメント：施設・設備のマネジメント、物品のマネジメント、情報のマネジメント、リスクマネジメント、サービスの評価	講義
13 14	看護サービスのマネジメント：看護部、看護部長、看護長、リーダー・メンバーの役割、夜間の看護体制と看護師の役割、入・退院調整　地域連携	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

学科試験 60%（講師別に各 30%）、課題学習 40%（カード作成 10%、参加態度 20%、振り返り 10%）

【6】 教科書

上泉和子：系統看護学講座　統合分野　看護の統合と実践 1　看護管理（第 10 版）　医学書院　2023 （電子版）

【7】 参考書

日本看護協会編：「看護に活かす基準・指針・ガイドライン集 2022」、2022.10.
原玲子：学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門第 2 版、2020.8.17、日本看護協会出版会

【8】 受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。
本授業は、3 学年の各領域で受け持ち患者の看護の際、また、後期の統合実習でも活用する内容です。特に、統合実習と連動するため、本授業に加え、統合実習ガイダンスや臨地実習をとおして学びを深めましょう。